

(公財)宝塚市文化財団

# 第14回宝塚学検定

## 検定試験の結果概要

公益財団法人宝塚市文化財団は、2023年3月21日(火・祝)に宝塚ソリオホールにおいて、第14回宝塚学検定を実施しました。当検定は、宝塚の自然・風土・歴史・文化などに関する100問の設問に対し、4択方式で解答。1問1点で、初級・中級は100問中70問以上、上級は80問以上、博士は85問以上の正解を合格とします。

第14回宝塚学検定の受検申込者は186人で、検定当日の受検者は185人、参加率99%でした。受検申込者186人のうち、宝塚市在住者は145人で全体の78%でした。近隣では西宮市・三田市・神戸市・川西市・猪名川町・尼崎市・伊丹市・明石市のほか、県外では大阪府が最多で、首都圏は東京都・神奈川県・埼玉県、西は広島県・福岡県まで幅広い地域から参加がありました。また、今回は小学生2人と高校生1人が参加しました。最高齢受検申込者は88歳、最年少受検申込者は10歳(小学4年生)でした。

採点の結果、初級受検者47人のうち36人が合格(合格率77%)。中級受検者24人のうち22人が合格(合格率92%)。上級受検者19人のうち17人が合格(合格率89%)。博士受検者95人のうち82人が合格(合格率86%)となりました。第14回検定ではセミナー参加者への加点制度を採用しており、初級5人、上級5人、博士17人が、加点により合格認定されました。初級・中級・上級・博士合わせて、第14回検定の平均合格率は85%、平均点が80点でした。なお、惜しくも合格点に届かなかった博士受検者7人は80点以上取得のため上級合格、同じく博士受検者4人と上級受検者1人は70点以上取得のため中級合格の認定をします。

最高得点は初級合格者が96点、中級合格者が90点、上級合格者が94点、博士合格者が100点でした。

第14回検定の初級合格者36人は中級に、中級合格者22人は上級に、上級合格者17人は博士にチャレンジすることができます。また、博士合格者82人も、今後継続して検定を受検いただくことができます。

第14回検定では前回に引き続き「ファミリー部門」と「一般部門」で【もの知りチーム決定戦】を実施しました。「ファミリー部門」では、小学4年生の家族と小学5年生の家族の2チームが受検しました。2組には賞品を贈ります。「一般部門」では7チーム37人がエントリーし、「宝のまち」チームが優勝しました。上位3チームに賞品を贈ります。

試験結果については、受検申込者全員に検定結果通知を発送するとともに、合格者に「認定証」「ピンバッジ」を送付します。

なお、成績優秀者の表彰、【もの知りチーム決定戦】の賞品の贈呈は、5月20日(土)に宝塚ベガ・ホールで開催する「宝塚学検定合格祝賀コンサート」(合格者は招待)において実施いたします。

■試験結果の概要

一般受検者		申込数	受検者数	合格者数	合格率	平均点	最高得点	
第1回	全体	190人	179人	172人	96%	88点	100点	
第2回	全体	170人	163人	140人	86%	83点	100点	
第3回	全体	169人	164人	142人	87%	81点	99点	
第4回	全体	190人	183人	142人	78%	79点	98点	
第5回	全体	272人	263人	173人	77%	74点	99点	
第6回	全体	235人	216人	156人	86%	78点	100点	
第7回	全体	249人	239人	193人	81%	81点	100点	
第8回	全体	266人	249人	218人	88%	84点	100点	
第9回	全体	268人	257人	223人	87%	83点	99点	
	内訳	博士	65人	65人	64人	98%	90点	99点
		上級	51人	48人	46人	96%	89点	99点
		中級	40人	38人	38人	100%	85点	98点
	初級	112人	106人	75人	71%	75点	96点	
第10回	全体	271人	263人	230人	87%	83点	100点	
	内訳	博士	89人	88人	84人	95%	91点	100点
		上級	36人	35人	33人	94%	86点	96点
		中級	46人	45人	43人	96%	84点	98点
	初級	100人	95人	70人	74%	75点	95点	
第11回	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止							
第12回	全体	183人	174人	160人	92%	84点	100点	
	内訳	博士	81人	77人	73人	95%	89点	100点
		上級	26人	24人	22人	92%	85点	99点
		中級	27人	27人	27人	100%	83点	97点
		初級	49人	46人	38人	83%	77点	94点
	午前の部	108人	104人	95人	91%	85点	100点	
午後の部	75人	70人	65人	93%	84点	99点		
第13回	全体	181人	170人	167人	98%	91点	100点	
	内訳	博士	87人	81人	81人	100%	94点	100点
		上級	32人	31人	31人	100%	92点	100点
		中級	28人	27人	26人	96%	88点	99点
	初級	34人	31人	29人	94%	85点	99点	
第14回	全体	186人	185人	157人	85%	80点	100点	
	内訳	博士	95人	95人	82人	86%	87点	100点
		上級	19人	19人	17人	89%	82点	94点
		中級	24人	24人	22人	92%	77点	90点
	初級	48人	47人	36人	77%	75点	96点	

※平均点と最高得点には、加点分は含まれておりません。

もの知りチーム決定戦結果（博士は10点を減点）

【ファミリー部門】2チーム参加 1位168点

【一般部門】参加チーム7チーム

チームの得点

順位 上位3人の合計点（チーム全員の平均点）／チーム名（メンバー数）

1位 274点（89.0）／宝のまち（6人）

2位 262点（81.2）／宝消チーム（6人）

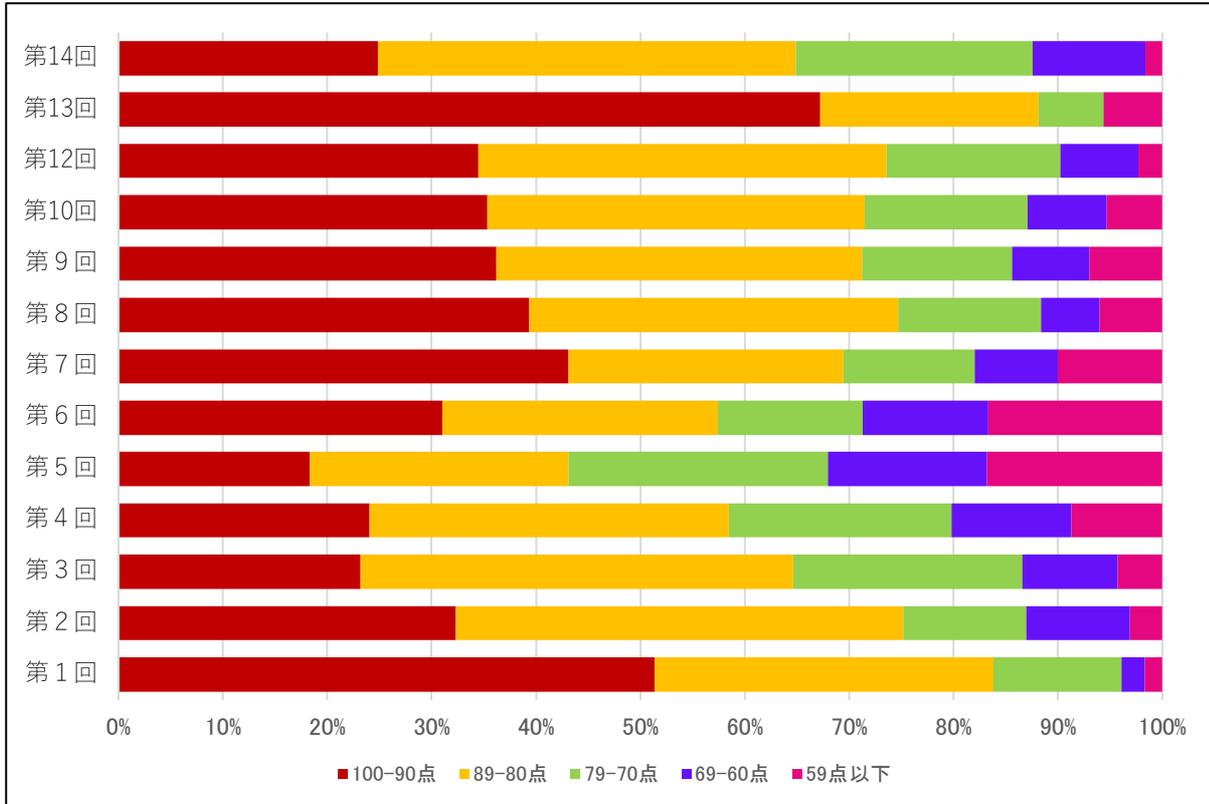
3位 260点（81.3）／ヅカ16（6人）

※もの知りチーム決定戦の結果には、小学生20点、中学生10点の加点が含まれています。

## ■得点分布

第14回宝塚学検定の平均点は80点でした。得点分布は以下の表の通りです。得点最多層は89-80点で74人。80点以上の得点者は合計120人で、全体の65%を占めました。

得点分布グラフ



## ■試験問題の概要

試験問題は、「自然」「歴史」「まち」「文化」「市」の5分野について、下表の通り出題しました。試験問題の74問が公式テキストからの出題で、残り26問はテキスト外からの出題でした。テキスト外からの問題26問のうち、4問が写真および図を見て答える設問でした。なお、公式テキスト外からの出題26問のうち、3問はサブテキストからの出題でした。

分野	事柄	第7回	第8回	第9回	第10回	第12回	第13回	第14回
自然	山、川、動植物など	19問	20問	19問	14問	17問	16問	19問
歴史	歴史的な出来事、由来など	22問	21問	21問	26問	25問	25問	23問
まち	産業、交通、イベント、行事など	24問	24問	19問	24問	20問	23問	26問
文化	音楽、映画、歌劇、文学など	25問	23問	30問	29問	23問	26問	23問
市	宝塚市の規模、姉妹都市など	10問	12問	11問	7問	10問	10問	9問

## ■試験問題の難易度

解答の正答率からみると、設問の約7割以上が正答率75%以上（やさしかった問題）で、正答率59%以下（難しかった問題）は、12問でした。

正答率	90%以上	89-80%	79-70%	69-60%	59-50%	49%以下
設問数	40問	25問	18問	5問	6問	6問

## ■高正答率問題と低正答率問題

	問 題	正答率
やさしかった問題	[6] 明治22(1889)年ごろ、神戸の外国人居留地で貿易を営んでいた[ ]は、武庫川右岸に炭酸水の瓶詰め工場を建設した。 ①ハンター      ②レイネル      ③グルーム      ④ <u>ウィルキンソン</u>	100%
	[10] 多田神社と一体的に信仰を集めた[ ]は、現在は川西市の飛び地として宝塚市に囲まれている。 ① <u>満願寺</u> ②大林寺      ③法泉寺      ④文殊院	99%
	*このほか、正答率99%の設問が5問ありました。	
難しかった問題	[26] 平安時代初期の『新撰姓氏録(しんせんしょうじろく)』に記録されている若湯坐連(わかゆえのみらじ)が関係していると考えられる宝塚市内の神社は次のどれか。 ①伊和志津神社      ②熊野神社      ③天満神社      ④ <u>売布神社</u> *この問題は、新版公式テキスト(P61)の記述をもとに作成・出題されました。	29%
	[86] 北摂(長尾)山地は大半が有馬層群からなる。有馬層群は[ ]によって形成された地層である。 ① <u>大規模な火山噴火</u> ②石灰岩の隆起      ③直下型地震      ④川砂の堆積 *この問題は、新版公式テキスト(P107)の記述をもとに作成・出題されました。	31%
	[45] 宝塚市北部の[ ]には多田銀銅山に連なる鉱山があり、室町時代に千本間歩(まぶ)をはじめとする坑道が開かれて採掘が行われた。 ①波豆      ②玉瀬      ③切畑      ④ <u>長谷</u> *この問題は、新版公式テキスト(P71)の記述をもとに作成・出題されました。	45%

※今回出題した設問[73]については、解答例に正解が2つ(①まつかぜ)(③やくも)含まれていました。したがって、(①まつかぜ)と(③やくも)のいずれも正解とします。

[73] 宝塚市と松江市は、2022(令和4)年に姉妹都市提携55年の節目を迎えた。これは宝塚駅が特急[ ]の停車駅となったことが縁で、1967(昭和42)年に両市は姉妹都市の協定を締結した。

①まつかぜ      ②はくと      ③やくも      ④いなば